

# PRSJ NEWS

2024年7月号 No.364



フィンランド大使館訪問の様子レポートは P14 掲載

## TOPICS

### MESSAGE

理事長就任の挨拶

PRSJ 理事長 山口 恭正

P3

### ATTENTION

新任理事・監事メッセージ

P4

### BULLETIN

「フィンランド大使館」訪問レポート

P14

事務局だより

P31



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 山口 恭正

# 目 次

7月~8月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	理事長就任の挨拶	P3
ATTENTION(お知らせ)	新任理事・監事メッセージ	P4
”	7月入会の皆様のご紹介	P5
”	「PRアワードグランプリ 2024」8月20日(火) エントリー受付開始!	P10
”	『2024年度版 広報・PR 資格試験参考問題集』7月1日に発刊	P12
	第36回1次試験 申込み締め切り迫る!	P13
BULLETIN(活動報告)	「フィンランド大使館」訪問レポート	P14
”	第46回広報ゼミ(4月18日)開催報告	P16
	ひとり広報よろずお悩み相談会	P16
	第230回定例研究会(正会員・個人会員限定)	
REPORT(講演レポート)	“メディア環境激変” NHKが果たすべき使命とは 講師: NHK報道局 取材センター長 山口 学 氏	P19
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P20
PLAZA(会員情報)	入退会・変更会員	P21
	事務局だより	P23

## 7～8月 セミナー・イベント スケジュール

### 【オンデマンド視聴】

PRプランナー1次試験対策講座	講師	： (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PRプランナー2次試験対策講座	講師	： 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PRプランナー3次試験対策講座	講師	： (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名

### 【オンデマンド視聴】

PR集中テーマスタディ<第1回>	日時	： 2023年7月25日(火)～2024年7月31日(水)
	テーマ	： リスクコミュニケーション(危機管理広報)
PR集中テーマスタディ<第2回>	日時	： 2023年11月22日(水)～2024年11月22日(金)
	テーマ	： 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開
PR集中テーマスタディ<第3回>	日時	： 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木)
		： ブランディングを実現する最新PR戦略

第47回 広報ゼミ(ハイブリッド開催)	日時	： 2024年7月17日(水) 16:00～
	会場	： 近畿大学東京センター及びZoomミーティング
	テーマ	： 企業のサステナビリティとコミュニケーション
	講師	： 株式会社良品計画 経営企画部 ESG経営推進課長 兼 広報課長 阿南 理恵氏

第231回 定例研究会	日時	： 2024年7月19日(金) 14:00～15:20
	会場	： 富士ソフトアキバプラザ「EXルーム1」
	テーマ	： メディアの興亡 24年夏 ～日刊工業新聞社編～
	講師	： 日刊工業新聞社 取締役 明 豊氏

第52回 PRスキル研究会 (ハイブリッド開催)	日時	： 2024年7月24日(水) 18:30～20:00
	会場	： エレックス 本社オフィス及びZoomウェビナ
	テーマ	： 広報×AIの最新潮流を学ぶ ～PR業務に生成AIをどう活用するべきか～
	講師	： プラップノード(株) マーケティングマネージャー 野中 透氏 プラップノード(株) コンテンツマネージャー 桃井 克典氏

## 7月～8月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(7月度)	日時	: 7月11日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(8月度)	日時	: 休会	
◇教育委員会	(7月度)	日時	7月18日(木)	16:00～17:00
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(7月度)	日時	: 7月25日(木)	14:00～15:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇国際・交流委員会	(7月度)	日時	: 7月5日(金)	16:30～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇広報委員会	(7月度)	日時	: 7月25日(木)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇顕彰委員会	(7月度)	日時	: 7月18日(水)	14:00～15:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(7月度)	日時	: 7月3日(水)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(7月度)	日時	: 7月16日(火)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	

## 理事長退任就任のご挨拶



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
理事長 山口 恭正

((株)電通PRコンサルティング 代表取締役社長執行役員)

先般、理事長職に就任いたしました山口恭正です。よろしくお願いいたします。

就任に先立ち、国内外含め日本企業を取り巻く経営環境の変化が激しくなる中、多方面から、パブリックリレーションズ領域の重要性や期待の声を数多くいただいております。特に、今年は、欧米をはじめ各国の選挙が予定され、今後の日本の企業活動にも大きな影響を与える要因が多く、企業の経営者にとってみれば、不確実性の増大に悩まされることだろうと思います。そうした不確実な環境下、抱えている経営課題、社会課題、ブランディング課題に対して、我々のパブリックリレーションズの領域ではどのような貢献ができるか、その中で広報部署の地位をどうあげていけるかが、主なテーマになると思っています。

一般的には、PRというと、まだまだ手法のことを思い浮かべる方が多い中、本来の「パブリックリレーションズ」の意味する、各種ステークホルダーとの対話や関係構築の中で企業価値の向上、そして、経営課題の解決に向けた貢献度や存在価値を可視化し、経営者からのますますの理解促進を図っていく必要があると思っています。社会を取り巻くさまざまな課題を一つひとつ解決しながら、同時に企業の価値を引き上げる、三方よし状態を目指すのは簡単なことではない上に、加えて、性別・世代や文化、思想、立場のダイバシティを超えていかななくてはならない難しさは、生半可なものではなく、同時に、協会が抱える課題もますます多岐にわたることを意味します。

多様で複雑な課題に向き合い、乗り越えていくための活動は、理事、会員の皆様様方のご助力、そして事務局メンバーの協力なくしては、成立し得ません。改めまして、皆さまのお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

末筆とはなりましたが、皆様からの引き続きのお力添えを切にお願い申し上げます。

## 副理事長・常務理事・理事・監事 ご挨拶

副理事 長江良 俊郎 (PR業部会 部会長/経営企画会議委員/コンプライアンス会議委員)  
(株)エイレックス 代表取締役



この度、副理事長およびPR業部会長を拝命いたしました。  
まず、会員の皆様にご挨拶申し上げます。  
ツーウェイコミュニケーションを基本としたパブリックリレーションズ、さらにそれを実践するパブリックリレーションズ・プロフェッショナルの皆さんは、あらゆる組織で重要度を増しております。  
この分野で活躍される会員各社の皆様はじめ、多くの広報パーソンが大活躍できるよう引き続き、職責を果たすべく全力を尽くす所存です。  
会員企業の皆様方のご支援ご鞭撻をお願いいたします。

副理事長 伊東 由理 (企業部会 部会長/経営企画会議委員/コンプライアンス会議委員)

LINE ヤフー(株) 執行役員 コーポレートコミュニケーション統括本部長



副理事長として2期目の担務に加え、今期より企業部会長を務めさせていただくこととなりました。  
変化の激しい現代において、「協会という存在が、PRパーソンの進化に向けた一つの道しるべとなれるよう尽力する」1期目から変わらず抱いている想いです。  
皆様と手を取り合い、知恵を寄せ合い取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副理事長 松本 理永 (広報委員会 委員長/経営企画会議委員/コンプライアンス会議委員)

(株)サニーサイドアップ 取締役



新たに副理事長、ならびに引き続き広報委員長を拝命いたしました。  
協会の活動に携わらせていただくことで、よりパブリックリレーションズの可能性を実感する一方、その存在意義や価値を正しく理解いただくことの重要さと難しさも感じて参りました。  
パブリックリレーションズプロフェッショナルをさらに輩出していくこと、そして彼らの活躍の先にある社会貢献の価値を、より多くの方々に知っていただくことをミッションに活動して参ります。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

副理事長 眞野 昌子 (経営企画会議委員/コンプライアンス会議議長)

日本マクドナルド(株) 広報部 インターナルコミュニケーション部 部長



代理店と事業会社で20年以上パブリックリレーションズに携わってきました。その楽しさと難しさ、奥の深さや影響力の大きさを実感し、パブリックリレーションズの可能性がますます広がっていくことを確信しています。「時代が求めるPR」「PRが持つ課題」「それらとどう取り組めばよいか」、PRSJの皆さまと、企業経営においても、社会課題の解決においても、さらに重要性が増すPRの専門性強化と認知向上に取り組みたいです。

## 常務理事 林 直樹



日本ではPRという言葉はいまだに誤解されて使用されているのが現状ですが、企業の社会的存在意義、事業による社会への貢献が一層求められている時代となり、パブリックリレーションズという考え方に益々注目が集まっていることを強く感じております。微力ながら本協会の常務理事としてパブリックリレーションズの啓発・普及に少しでも貢献できればと思っております。また本協会への加入を検討されている会社様、団体様をご紹介いただければ、直接ご説明に伺いますので、ご紹介よろしくお願いたします。

## 理事 相川 貴之 (教育委員会 副委員長)

### いすゞ自動車(株) 広報部長



経営の要諦としてマルチステークホルダーとの良好な関係構築が求められる時代において、今後もパブリックリレーションズに求められる役割は拡張し、複雑化していく一方で、体系立てられた知見ノウハウの習得と実践能力を磨く場を自助努力で作ることは多くの企業にとって難しい現状があります。教育委員会活動を通じて、パブリックリレーションズのプロ人財としての成長機会の提供と業界の発展に微力ながら貢献してまいりますので宜しくお願致します。

## 理事 江中 一穂 (国際・交流委員会 委員長)

### 住友商事(株) 広報部副部長



この度理事に選任いただきました住友商事の江中です。  
当社の営業から広報に異動し、途中3年弱のサステナビリティ担当を挟みますが、広報経験は通算で16年目になります。  
広報のカバー領域が広がり、自身の勉強不足を日々痛感しておりますが、一方でその面白さ、やりがいも感じております。  
当協会には様々な知見が蓄積されていますので、その活動を通じ私自身も楽しく学ばせていただきつつ多少なりともお役に立てれば幸いです。  
何卒宜しくお願致します。

## 理事 遠藤 祐 (教育委員会 委員長)

### (株)博報堂 シニアPRディレクター



理事・教育委員会委員長・PR業部会幹事メンバーを拝命いたしました。皆さまのご支援、厚く御礼申し上げます。協会の存在意義や広報の重要性とともに、PR業務従事者の一層の地位向上に努めて参りたいと存じます。教育委員会では収益性も含め、新しい視座や技術を学ぶ各種講座を設け、統合マーケティングからコーポレートコミュニケーションまで企業経営視点を含めた講座の充実を図りたく、微力ながら貢献できればと思えます。何卒宜しくお願申し上げます。

理事 吉柳 さおり (PR業部会 副部会長)

(株)ベクトル 取締役副社長



再任を賜りましてありがとうございます。PR業に長年従事をして参りましたが、時代の変化を受け、さらにパブリックリレーションズの重要性が増していると感じます。そのニーズに即した、業界の発展の一助になりますよう、協会活動に尽力して参ります。会員の皆様のご支援ご鞭撻をいただければ幸いです。

理事 齋藤 博海 (関西部会 副部会長)

パナソニック オペレーショナルエクセレンス(株)

コーポレート広報センター コーポレート広報室長



この度、理事に再選いただき、引き続き関西部会副部会長を拝命いたしました。この2年間、PRSJの様々な活動に携わり、PRの新たな潮流や課題、または奥深さや楽しさにも改めて触れることができ、多くの経験と学びを得ることができました。これらの“恩”を少しでもお返しするため、引き続き皆様のご指導を受けながらではありますが、PR領域の発展に向けて貢献していきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

理事 坂本 香織 (企業部会 副部会長)

第一生命ホールディングス(株) コーポレートコミュニケーションユニット長

「企業理念を1人ひとりのエネルギーに。企業そして社会のエネルギーに。」私自身のパーパスです。



広報のお仕事を重ねる間に、自然とこのような言葉が心に浮かびあがりました。コミュニケーションは、異なる立場の者同士が対話を重ね共創することであり、企業にとってその起点は、企業理念なのだと思います。理念とコミュニケーションの力が、社会に良きことをもたらすと心から信じています。理事の第2期。皆様と一緒に、いっそう広報の核心に近づいていきたいと思っています。

理事 佐藤 圭一 (顕彰委員会 委員長)

TOPPANホールディングス(株) 広報本部 宣伝部長



これまでブランド戦略コンサルタントとして数多くのクライアントに対してコミュニケーション支援を行ってきました。7年前からは自社の広報部門に異動し、企業の内部からブランド再構築にチャレンジしています。PRSJにおいては2017年以來、広報委員会、教育委員会、顕彰委員会と3つの委員会に参加し、多くのPRパーソンから刺激を受け、学ばせていただきました。今後は学ぶだけでなく、PRの普及と発展、及びPRSJのさらなる進化に向けて少しでも貢献ができればと考えています。



理事 柴山 慎一  
社会構想大学院大学 教授



日本広報学会に所属している実務家と研究者あわせて650人による2年間にわたる議論を通じ、これからの時代にふさわしい新たな「広報の定義」を2023年6月に発表しました。

「組織や個人が、目的達成や課題解決のために、多様なステークホルダーとの双方向コミュニケーションによって、社会的に望ましい関係を構築・維持する経営機能である」

この「広報の定義」では、パブリックリレーションズ、コーポレートコミュニケーションも同義としています。

ご参考まで。

理事 細見 基志 (関西部会 部会長)

ダイキン工業(株) 役員待遇 コーポレートコミュニケーション室長



この度、理事・関西部会長として2期目を務めることになりました。

関西部会は昨年より、新しい事務局体制のもと、幹事も増強し新たなスタートを切っています。会員のニーズにフィットした「学びと交流」について、理事・幹事・事務局全員が集まった幹事会で議論し実行しています。

今年度は、幹事会をさらに楽しく活性化し、関西ならではの魅力溢れる企画に知恵を出し、東京の企業部会等とも連携するなど、PRSJの良さが実感できる活動に取り組んでまいります。

理事 本田 哲也 (個人会員担当)

(株)本田事務所 代表取締役



分断が進み、不確実性の高い現代において、共感と合意形成を促すパブリックリレーションズの重要性は向上しています。また、事業会社と支援会社に続く第三の存在として、フリーランサーなど個人のPR従事者も増えてまいりました。スタートアップ企業で急増している、いわゆる「ひとり広報」の課題も顕在化してきました。今年度も、理事として業界の事を考え、行動していく所存です。よろしく願いいたします。

理事 吉宮 拓 (顕彰委員会 副委員長)

(株)プラップジャパン 取締役 コミュニケーションサービス統括本部長



今期から理事を拝命した吉宮拓と申します。

協会ではこれまでPR業部会やPRアワードグランプリの審査員などに携わってきました。

これらの活動を通じていつもひしひしと感じるのは、パブリックリレーションズに対する皆さまの志の高さと熱量です。

今後は理事の立場として、皆さまの熱い思いをしっかりと汲み取り、これまで以上にパブリックリレーションズの意義と価値を世の中にインストールできるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事 渡邊 香織 (資格委員会 委員長)

伊藤忠テクノソリューションズ(株)

経営企画グループ 広報・サステナビリティ推進室長代行 兼 サステナビリティ推進部長



この度、資格委員会委員長を拝命いたしました。

変化する時代に、社会課題を俯瞰して物事の本質をとらえ、周囲と協働しながら課題解決に近づく提案を積み重ねられるパブリックリレーションズの知識とスキルは、PRパーソンだけでなく全てのビジネスパーソンに役立つ力だと考えています。PRプランナー資格試験がより多くのビジネスパーソンのスキルの指針となるよう、私自身これまでの知識と経験をアップデートしながら協会の発展に貢献していきたいと考えております。ご支援よろしくお願ひいたします。

監事 大石 哲也

(株)スパイスコミュニケーションズ 代表取締役社長



監事として2期目となりました。

コロナ禍がやっと収まり、PRの実務に於いてもリアルとオンラインの使い分けとコロナ禍の功罪が問われる時となりました。会員各位のボランティアとしてのこれまでのご協力に感謝する次第です。

企業とPR各社が両立すると当協会の特性を生かして更なる充実した組織運営を見守りたく思います。

監事 金野 祥治

(株)小田急スポーツサービス 監査役



この度、監事に就任をいたしました金野(こんの)です。現在、内閣府では来年度の施行を目途に公益法人制度改革が進められています。新制度では財務規律(収支相償の見直し等)や行政手続きが柔軟かつ簡素化される一方で、透明性の向上とガバナンスの強化がさらに求められることになりそうです。当協会においても公益法人としての健全な組織運営とガバナンス強化に向け、皆さんとともに議論を深めてまいりたいと思います。

今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

監事 富岡 洋子

NTT データ 先端技術(株) 取締役常務執行役員



この度、監事として2期目を務めさせていただくこととなりました。PRの「多様なステークホルダーと真摯に向き合い、コミュニケーションを通じて相互理解と合意形成、信頼関係を深めていく力」は、ビジネスパーソンの「必須スキル」として、ますますあらゆる局面で必要であると感じています。PRSJにも一層の期待が寄せられる中、監事として、協会の活動、並びに会員の皆様にいささかなりとも貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、7月にご入会いただきました

## TMI 総合法律事務所



TMI 総合法律事務所は、弁護士 625 名、弁理士 96 名（2024 年 6 月 3 日時点）が在籍しており、スタッフを含めると 1,200 名を超える日本最大級の法律事務所です。国内 6 拠点・海外 17 拠点を構え、幅広い業務領域での専門性と豊富な経験を活かし、企業・団体・地域に密着したリーガルサービスを提供しております。弊所では 2023 年に新たに広報デスクを立ち上げ、積極的な広報活動を開始いたしました。PR 協会では、セミナーへの参加や会員の皆様との交流・情報交換を通じて、PR スキルを高めていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## テルモ株式会社



24 年 7 月に入会しました、テルモ株式会社です。テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するため、1921 年に設立されました。新千円札の肖像に採用された北里柴三郎博士が、テルモ設立の発起人の一人として名を連ねています。現在は「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、カテーテル治療用製品や、注射器・輸液ポンプなどの医療機器、細胞治療に使われるシステムなどの提供を通じて、医療現場や患者さんが抱える様々な課題を解決しています。皆様との情報交換や勉強会への参加を通じて、当社広報チームのスキルアップにつなげていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

た正会員（掲載希望社）をご紹介します。

## 「PRアワードグランプリ 2024」 8月20日(火)エントリー受付開始！

顕彰委員会

8月20日(火)から「PRアワードグランプリ 2024」のエントリー受付を開始いたします。最終受付の締め切りは10月15日(火)17:00(必着)です。皆さまからのエントリーを、心よりお待ちしております。

### 「PRアワードグランプリ 2024」応募概要

- <後援> : 経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会 ※申請中  
<エントリー案件> : 企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。  
※現在継続している活動を含む  
※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

### <成果イメージ> :

- コーポレート・レピュテーションの向上
- マーケティング面における貢献
- ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現
- 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

<エントリー方法> : 「PRアワードグランプリ 2024」のエントリーフォームに必要事項を入力し、作成した既定のエントリーシートを添付して登録。

### <エントリー料> : ※予定

- 12,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)  
※2024年8月20日(火)～9月15日(日)に受付完了記録があるもの
- 25,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)  
※2024年9月16日(月)～10月15日(火)17:00必着

### <審査について> :

審査委員長と9名の審査委員の計10名で構成。審査委員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。

なお、顕彰委員会及び審査委員の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査(11月14日(木)予定)  
審査委員が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。
2. グランプリ審査(12月2日(月)予定)  
一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査委員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。審査終了後、審査結果をご担当者様にメールにてご連絡いたします。

## Attention (お知らせ)

### <表彰式について>

12月11日(水)、全受賞エントリーに対し表彰式を開催。また、シルバー以上の受賞エントリーについては、一般公開のためプレゼンテーションを行っていただきます。

日時：2024年12月11日(水) 16:30~20:00(予定)

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者様にメールでご案内いたします

### <ご参考>

その他アワードに関する記事やWebページのご案内

#### ◆アワード応募概要

<https://prsj.or.jp/pr-award/>

#### ◆過去の受賞事例

<https://prsj.or.jp/pr-award/list/>

#### ◆協会 SNS でアワード情報も更新中

X (旧 Twitter) : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

# PRプランナー資格認定検定試験 1次・2次・3次試験公式テキスト 『2024年度版 広報・PR 資格試験参考問題集』を 7月1日に発刊

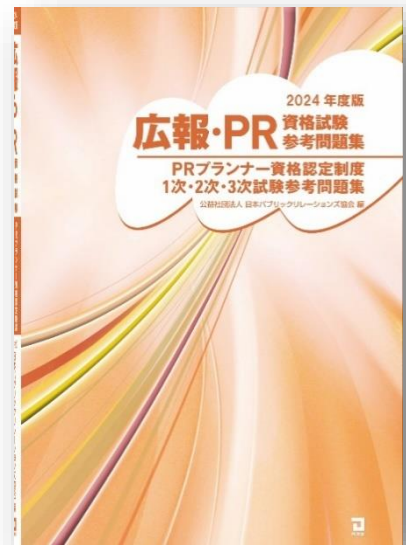
資格委員会

PRプランナー資格認定検定試験 1次・2次・3次試験の過去問題を収録した公式テキスト『2024年度版 広報・PR 資格試験参考問題集』を7月1日に同友館より刊行しました。

本テキストは、1次試験公式テキスト『広報・PR概説』、2次試験公式テキスト『広報・PR実践』の各章に準じた過去問題と解説を2問ずつ収録しているほか、2次試験科目Dの時事問題では実際の出題数と同じ25問を収録しています。また、1次試験、2次試験ともに、それぞれ5月6月に刊行された公式テキストの2024年度版にも対応しております。3次試験でも各課題2問の過去問題と解説を収録しており、試験対策に役立つ内容となっております。

『2023年度版』からの主な変更内容は、テキストの改訂内容に準じ、1次試験では4問更新し3問の解説を加筆、2次試験（科目A～C）では11問更新し2問の解説を加筆、2次試験（科目D）は、第34回2次試験（2023年11月実施）から全25問更新しております。3次試験では、第33回もしくは34回3次試験から各課題1問を更新しております。

ご多忙の中、ご執筆、ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。



### 2024年度版 広報・PR 資格試験参考問題集

仕様	定価：1,760円（消費税込）、仕様：A5サイズ、194ページ、ISBN：978-4-496-05723-6		
編著	（公社）日本パブリックリレーションズ協会		
発行	同友館	発行日	2024年7月1日
目次	<p><b>1次試験参考問題と解説</b> 28問（1章あたり2問×14章分）</p> <p><b>2次試験参考問題と解説</b> 科目A 企業経営と広報・PR 12問（1章あたり2問×6章分） 科目B マーケティングと広報・PR 6問（1章あたり2問×3章分） 科目C コミュニケーションと広報・PR実務 8問（1章あたり2問×4章分） 科目D 時事問題 ※第34回2次試験より抽出 25問（1章あたり2～3問×7章分）</p> <p><b>3次試験参考問題と解説</b> 課題A ニュースリリースの作成：2問 課題B 広報・PR計画の立案の作成（コーポレート課題）：2問 課題B 広報・PR計画の立案の作成（マーケティング課題）：2問</p>		

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

### 第 36 回 1 次試験 申込み締切り迫る！

仮申込み期間は 7 月 26 日(金)まで

— 試験期間は、8 月 10 日(土)～25 日(日) —

資格委員会

2024 年度後期（第 36 回）1 次試験の受験に必要な仮申込みが 7 月 26 日（金）で締切りとなります。試験は CBT 方式で、試験期間は 8 月 10 日（土）～8 月 25 日（日）の 16 日間で実施します。本 1 次試験は広報・PR に関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに 15,976 名が受験し、11,864 名が合格しております。

今回の試験は 2025 年 2 月となります。ので、今回受験をご検討の方 7 月 26 日（金）までに仮はお早めにお申込み、8 月 2 日（金）までに本申込みをお願いします。

全国に開設されたテストセンターで、PC を使って受験していただきます。

- 16 日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

#### 【1 次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



#### 【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 36 回 1 次試験 実施概要】

試験期間	2024 年 8 月 10 日（土）～8 月 25 日（日）
仮申込み期間	2024 年 6 月 1 日（土）正午～7 月 26 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2024 年 6 月 1 日（土）正午～8 月 2 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合否発表	2024 年 9 月 4 日（水）正午
試験出題数／試験時間	50 問／80 分
合格基準	全出題数に対して正答率 70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説（2024 年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PR プランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



## 「フィンランド大使館」 訪問&会員交流会開催報告

国際・交流委員会

国際・交流委員会では、世界の様々な地域の大使館を訪問し、歴史、経済、文化を学びながら、大使館の方々および会員同士の交流を行う勉強会を開催しています。

今回は、梅雨入り前の6月5日、国連が発表する「世界幸福度ランキング」で7年連続トップに輝く国、フィンランド大使館を訪問しました。予約受付開始後すぐに満席となった大人気のプログラムで、幸運な30の方にご参加いただきました。港区広尾の有栖川宮記念公園からほど近く、大使館の多い閑静な住宅街に位置する駐日フィンランド大使館。一步足を踏み入ると、そこはスカンジナビアンデザインで統一され、ナチュラルな色彩を基調とした、シンプルで機能的でありながらも温もりの感じられる寛ぎの空間が広がっていました。



レータ・プロンタカネン報道・文化担当参事官は危機管理と危機コミュニケーションのスペシャリストとして活躍し、フィンランド外務省に入ってから西欧課などの広報に携わり、2020年に着任されました。冒頭に、「私も皆さんと同じ広報パーソンです」とおっしゃったのが印象的でした。以下に実施いただいたプレゼンテーションの概要をまとめます。



フィンランドについて、国土はほぼ日本と同じ、人口およそ560万人。日本と同じく国土の約75%が森林で自然豊か。男女平等。2019年12月、34歳フィンランド史上最年少でサンナ・マリン首相が就任。国会議員の約半数が女性で、閣僚も女性の方が多い。大使の半数が女性で、タンヤ・ヤースケライネン駐日フィンランド大使も女性。2000年には初の女性大統領タルヤ・ハロネン大統領が誕生。マリン前首相の政権は、与党を構成する5政党の党首全てが女性、しかも5人のうち4人が30代前半であった。組織内のヒエラルキー上下関係がない。年功序列は重視されず、出自や年齢、性別に関係なく機会の平等が保障されている。ボトムアップで仕事が進み、信頼を元にした許可を待つ必要がない。手厚い子育て支援制度や様々な社会福祉・保健制度。大学院博士課程まで教育無償で、全ての人に質の高い教育を保障している。ICT DX デジタル先進国。経済を支える主要産業は、テクノロジー情報通信産業50%、森林産業と化学産業20%。スタートアップ支援文化で、革新的かつ創造的な起業家をサポートする体制が整っている。



次にカントリーブランディングとプロモーション、コミュニケーション戦略について、様々な事例を挙げながらご説明いただきました。本国からのメッセージをそのまま伝えるのではなく、何を日本で伝えるか、何が日本で響くかを考え抜き取捨選択して、真実を曲げず透明性と信頼を大事にしている。SNS運用は、X・Facebook・Instagramで、SNSごとにターゲット層を絞り込み、内容を変えて投稿。政府のコミュニケーション戦略は“Everyone communicates”対等な関係で話し合いや対話をする、一人ひとりが広報パーソンになる。正にパブリックリレーションズの本質に迫る貴重なお話を伺う機会をいただきました。



フィンランドについていろいろ学んだあとは、お楽しみのコーヒープレイク。カルダモンの生地をひねって成形し、バターを塗ってヴァニラシュガーをまぶした菓子パン“Kristallipullat クリスタリプッラ”と香り高いコーヒーを味わいながら交流会に。大使館の方や参加者同士で和やかに歓談し、名刺交換を行うなど各々有意義なひとときを過ごしました。

今回、お力添えいただきましたフィンランド大使館の皆様にご心より感謝申し上げます。

フィンランド大使館では、SNSなどを活用し積極的に情報発信をしております。ぜひご覧ください。

<https://x.com/FinEmbTokyo>

<https://www.instagram.com/FinEmbTokyo/>

<https://www.facebook.com/FinnishEmbassyTokyo/>



今後も、国際・交流委員会では他の国の文化に触れるイベントを企画してまいります。ぜひご期待ください。

■ レポート

落合麻美 (ASANOHA DESIGN)

## 第46回広報ゼミ(4月18日)開催報告 ひとり広報よろずお悩み相談会

企業部会

2024年4月18日(木)、パナソニックホールディングス(株)日比谷拠点において、第46回広報ゼミ「ひとり広報よろずお悩み相談会」が開催され、悩める皆さん14名に参加いただきました。

日本パブリックリレーションズ協会(PRSJ)では、近年増えつつある「ひとり広報」の方への支援を重点施策の一つとして掲げており「ひとり広報“MEET UP”」「ひとり広報実態調査」など各種施策を実施しています。

広報ゼミは、PRSJの一般企業や団体の正会員で構成される「企業部会」が企画から運営まで自主的に行う活動の一つですが、今回は2022年8月に開催した第40回広報ゼミ『ひとり広報』～価値を理解され、必要とされる広報になるために～」に続く第2弾として、個人会員・准会員の「ひとり広報」の方も参加できるイベントとして開催しました。

ひとり広報ならではの様々な「お悩み相談」をテーマに、対面でのワークショップ形式とすることで具体的な事例についてアドバイザーや参加者と活発な意見交換を行うとともに、参加したひとり広報の方同士の繋がりを構築できる場として設定しました。



## 1. はじめに

PRSJ 副理事長・企業部会 部会長（当時）の岩切正哉氏よりご挨拶がありました。

岩切氏はまず PRSJ の概要について説明されたあと、企業部会の活動内容や幹事メンバーについて紹介。

さらに「個人会員の方も、ぜひ正会員となっただき、企業部会活動に参加したり、幹事会のメンバーとしてその企画運営に携わっていただくことで、より多くの学びや人脈が得られ、仕事上の悩み解決にも役立ちます。皆さんのパブリックリレーションズ活動を充実させるためにも、ぜひ積極的に活用してください」と呼びかけられました。



## 2. 相談会セッション

続いて、メインイベントである相談会セッションに移りました。

セッションでは会場に3つのテーブルを用意。各テーブルには、ひとり広報の立場から助言できる「ひとり広報経験者」と、経験豊富な「ベテラン広報」の方々を2人1組に、アドバイザーとして付いていただきました。

参加者には各アドバイザーが得意とする分野（メディアリレーション、社内報など）を記載した紙を配布しており、関心をお持ちのテーマのテーブルに付いてもらいました。

以下が各テーブルのアドバイザーと主な相談内容になります。

### ■テーブル1

ひとり広報経験者：(株)リブラン 宣伝課 課長 戸口木綿子氏

ベテラン広報：PRSJ 副理事長・企業部会 会長（当時） HARMONIC BOND 代表 岩切正哉氏

<主な相談内容>

- ・BtoB の会社における SNS の運用方法について
- ・ひとり広報で、やりたいことが多い場合の対処法
- ・広報の人数はいるが連携が取れていない場合の対応策
- ・リスク管理、危機管理広報のあり方について

### ■テーブル2

ひとり広報経験者：リスト(株) 広報部 次長 田尻有賀里氏

ベテラン広報：PRSJ 理事・企業部会 副部会長 第一生命ホールディングス(株) コーポレートコミュニケーションユニット長 坂本香織氏

<主な相談内容>

- ・メディアと新規で知り合う方法
- ・1人で広報を立ち上げる際の体制の築き方
- ・プレスリリースにおける PR TIMES 配信と個別配信の違い
- ・KPI をどのように設定しているか
- ・広報の年間計画をどう立案すべきか
- ・社員に社内報などを見てもらうための方法

### ■テーブル3

ひとり広報：(株)メドレー 広報グループ グループマネジャー 佐々木小織氏

ベテラン広報：LINE ヤフー(株) コーポレートコミュニケーション統括本部  
コーポレートコミュニケーション本部 本部長 紺野篤志氏

## <主な相談内容>

- ・どのようにブランドの管理を行っているか
- ・経営からの方針をどのように現場に浸透させられるか
- ・従業員のモチベーションを向上させる方法
- ・自社に関するメディア露出をどうやって収集しているか
- ・社内コミュニケーションを強化する方法



## 3. まとめ

すべてのセッションを終えたあとは、アドバイザーとしても参加された PRSJ 理事・企業部会 副部会長の坂本香織氏に総括いただきました。

坂本氏からは「あっという間の時間でしたが、チームでも1人でも会社のコミュニケーションや社員の共感、ブランドを良くしていこうという目標は一緒なので、多くの学びがあった時間でした。今日出会った方も、もう仲間ですから、これからもいろいろな情報交換ができればと思います」とまとめていただき、閉会となりました。



当初「1セッション20分」として、セッションごとに参加者にテーブルを移動していただき、3セッション行うことを予定していました。しかし、20分ごとにセッションの終了をお伝えしても皆さん動かれず、最初についたテーブルのまま閉会を迎えました。

想定が甘かったことは反省すべき点ではありますが、参加者がこちらの予想を上回る熱量を持っていることのあらわれとも言えるので、嬉しい誤算でもありました。セミナー後は、参加者同士で活発な名刺交換も行われており、さらなる繋がりも生まれたことと思います。

お忙しい中、幹事ではないお立場ながらアドバイザーを引き受けていただいた戸口さん、また担当幹事の皆さま、そして会場提供や運営に絶大なるご協力をいただいたパナソニックオペレーショナルエクセレンス(株)の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

企業部会では今後も「ひとり広報」の皆さまのお悩み解決、仲間づくりに貢献できるような企画を検討・実施してまいります。

文責：竹内 昭彦（セコム株式会社）

**【正会員・個人会員限定】**

第 230 回定例研究会

**“メディア環境激変” NHK が果たすべき使命とは**

講師:NHK 報道局 取材センター長

**山口 学 氏**

第 230 回定例研究会は、5 月 29 日（水）開催しました。講師は NHK 報道局 取材センター長 山口 学氏。テーマは「“メディア環境激変” NHK が果たすべき使命とは」でした。

## 協会掲載記事

● 7月1日(月) 『月刊広報会議』(宣伝会議)8月号

『月刊広報会議』8月号における当協会の連載コラムで、6月11日に開催した「第13回通常総会」の概要が掲載されました。

コラムでは、山口恭正氏(株式会社電通PRコンサルティング 代表取締役社長執行役員)が理事長に就任し、18人の理事と3人の監事が選任されたこと、また山口新理事長のあいさつなどが紹介されています。

[記事協力:株式会社内外切抜通信社]

## ■ 入退会・変更会員

(6月度理事会承認 ※社名・氏名五十音順)

### I. 新入・退会・変更会員 (月)

#### ①新入会員

◇ 正会員 2名 (社名50音順)

##### ◆7月入会

<企>	園田 早苗 氏	【東京】	(株)商船三井 チーフ・コミュニケーション・オフィサー
<企>	橋爪 伸也 氏	【東京】	テルモ(株) 広報室 マネージャー

◇ 個人会員 6名 (入会月別 氏名50音順)

##### ◆6月入会

許田 結莉 氏	【東京】	(株)日本国際放送 次世代事業開発室
南賀 哲也 氏	【東京】	joyNT 舎

##### ◆7月入会

田熊 秀美	【東京】	(株)アルゴバース 広報 PR 事業部・営業企画部 部長
只友 真理	【東京】	PwC Japan 有限責任監査法人 企画管理本部 シニアマネージャー
玉土 晃	【東京】	(株)KADOKAWA 内部統制部
山本 幸子	【愛媛】	三浦工業(株) ブランド企画室 広告宣伝課 課長

#### ②変更者

◇ 正会員 4名 (会社名50音順)

野谷 和弘 氏	から	佐藤 知恵 氏	グリー(株) (経営企画部 広報グループ マネージャー)
田中 慎一 氏	から	金山 亮 氏	フライシュマン・ヒラード・ジャパン(株) (代表取締役社長)
今井 久美子 氏	から	佐々木 小織 氏	(株)メドレー (Design&Communication 室 マネージャー)
中谷 道子 氏	から	一坂 理絵 氏	サンスター(株) (広報部 広報グループ長)

# 理事会報告

## ③退会者 <2023年3月31日付>

◇正個人会員(報告) 2名

(氏名50音順)

<PR> 田熊 秀美 氏 【東京】 (株)アルゴバース  
メディアリレーションズディレクター

<その他> 元広 菜穂子氏 【東京】 全国農業協同組合中央会 広報部 部長

◇個人会員(報告) 1名

(氏名50音順)

菊地 彰夫 氏 【東京】 その他

伊藤 龍太郎 氏 【東京】 (株)ゲオホールディングス 社長室 執行役員

## <令和6年7月1日からの会員数(※6月13日時点)>

種別	当月合計	内訳	会社数	会員数	前月 (2024年6月)
正会員	会社数	企業	189社	192名	会社数
	342社	PR業	140社	147名	342社
	会員人数	その他(官庁・団体)	13社	13名	会員人数
	352名	(うち関西)	(64社)	(64名)	352名
個人会員	296名	/			292名
准会員	74名				75名
法人登録会員	12名				12名
特別会員	3名				3名
総員数合計	737名				734名
法人賛助会員	1社				1社





事務局の青田です。

7月になり、新体制は順調に始動しています。

今号では、山口理事長をはじめ理事・監事のみなさんのメッセージが掲載されていますので、是非、お読みください。みなさまのご支援のほど、よろしくお願いします。

## ■広報・PRの仕事につかなくとも、PRプランナー資格をとりたい大学生（試験対策講座）

PRプランナー資格のテキストや試験問題作成で全面的にご協力いただいている東経大の駒橋先生のゼミで試験対策のレクチャーをさせていただきました。

はじめに、なぜ広報・PRを学んでいるのか、PRプランナー資格試験を受けようとしているのかと質問したところ、PR会社などの専門会社に就職希望している学生は半分に満たず、むしろ商品開発や企画、営業などの仕事を希望している学生が多かったのは少し意外でした。現実就職活動をはじめると考えも変わっていくのだらうと思われま。

ところが、お話をしていくと、みなさんがパブリックリレーションズを知ること、理解することが、これからの自分の仕事生活において生きる、役に立つと考えていることが感じられました。まだまだ漠然とした感覚なのだらうと思いますが、これは非常に重要な“芽”なのではないでしょうか。

## ■いま、最も活気に溢れた交流の場！でした（企業部会 総会）

来月号でご紹介されるかと思いますが、あまりに盛り上がったので一足先にご報告です。

7月3日に銀座で企業部会の総会が開催されました。総会といっても、何か決議をするような場ではなく、50名近い参加者が立食のbuffet形式で名刺交換をし、大いに語り合う交流会です。

参加各社から提供いただいた商品、グッズを景品にしたビンゴまで行われ、ベタな展開ながらも（笑）極めてシンプルかつパワフルな“MEET UP”の機会になりました。業種はさまざま、担務もさまざま、経験年数もさまざまながらも、「広報」というミッションで共通言語を持つ者同士で話が尽きることはなく、時間いっぱいまで明るい声が会場を覆っていました！

みなさんも、次の機会には是非、ご一緒しましょう！

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F